▼歴史読み物

ヒロシマのグウエーラ
—被爆地と二人のキューバ革命家—

林　立雄 著・相原香織 編
四六判 240 頁・本体 1,800 円＋税（10%）

エルネスト・チェ・ゲバラ、フィデル・カストロ、二人のキューバ革命家が 1959 年と 2003 年に広島原爆慰霊碑に献花し資料館を見学した。その両方の場に居合わせた元新聞記者の実録と、その後注目してきた世界と核問題。

ISBN978-4-86327-367-2 C0030　2016 年 12 月 14 日発行

私たちの心づもり
71 年目の原子爆弾被爆者の心

有田健一
A 5 判 232 頁・本体 1,800 円＋税（10%）

被爆二世であり呼吸器科医でもある筆者が自身の親族の看取りをきっかけとして、自分らしく生きる生き方とはどういうことか、20 人の被爆者の証言とともに探求を行う。

ISBN978-4-86327-425-9 C1036　2018 年 4 月 10 日発行

原爆と日常
—視覚的面のデジタル化—

今石元久
A 5 判 150 頁・本体 1,200 円＋税（10%）

CD-ROM 付き。著者は方言研究者である。被爆者の口述記録に含まれる方言の現実的・実感的伝達力に着目して音声保存に心血を注いできた。本書はその纏めであり後世への託言である。

ISBN978-4-86327-138-8 C0036　2011 年 4 月 15 日発行

人類の危機に立ち会った人たちの声

今石元久
A 5 判 172 頁・本体 1,800 円＋税（10%）

広島・長崎の被爆者の証言をテキストと音声とで書き残す。肉声 CD により文字や絵には換えがたい、リアルな惨状を感じ取ることができる。（一部英訳）

ISBN978-4-87440-933-6 C0036　2006 年 7 月 11 日発行

広島の歴史と被爆体験記

國分良徳
B 5 判 60 頁・本体 1,500 円＋税（10%）

広島城の鬼門を守護する第 19 世住職までつづく寶勝院の歴史と、お寺と人びとが体験した原爆の惨状を記録する。

ISBN978-4-86327-342-9 C0023　2016 年 4 月 1 発行

自分史味の昭和・断片
—真珠湾からポプラまで—

松永　仁
A 5 判 536 頁・本体 3,500 円＋税（10%）

被爆直後の広島でジャーナリストとして生きた著者が半生を振り返る。表題のほか、指の鳴る音・スウィニー始末記・ポプラが語る日。

ISBN978-4-86327-055-8 C0031　2009 年 4 月 20 日発行

中国と私、そしてヒロシマ

今堀誠二
B 6 判 186 頁・本体 1,200 円＋税（10%）

現代中国研究の第一人者で女子大の学長も務めた著者の、ヒロシマの平和運動・中国研究・大学・教育と人々の出会いについての警鐘的エッセイ。

ISBN978-4-87440-191-0　1988 年 9 月 26 日発行

原爆を伝える子どもの文学
—ヒロシマからの発信—

阿部真人・阿部雅子
A 5 判 560 頁・本体 4,800 円＋税（10%）

広島に生まれ、あるいは広島とかかわりをもった 7 人の作家、大野允子・山口勇子・竹田まゆみ・山下夕美子・吉本直志郎・中澤晶子・那須正幹の、児童文学作品の紹介とその解説。

ISBN978-4-86327-142-5 C1095　2011 年 5 月 20 日発行

ひろしま弁「論語」

下見隆雄
A 5 判 311 頁・本体 2,200 円＋税（10%）

「論語」の口語訳をひろしま弁でつづる。先生がいいんさった、「他人が、わしの（思いの、いよいよの、ほんまのところん）ことぅ認めてくれんのんを、わしゃぁ、情け無ぁじゃの思やぁせん・・・

ISBN978-4-86327-244-6 C0012　2013 年 12 月 20 日発行

ひろしまべん 100 話〈POD 版〉

町　博光
A 5 判 200 頁・本体 2,000 円＋税（10%）

広島方言の特徴と用語例——広島弁の概説（名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・助詞・助動詞・成句）、広島弁の発想（方言のなかの人・動物・植物・色・数・味・漢語・方言の語源）

初版 1999 年 10 月 8 日発行（品切）
ISBN978-4-86327-311-5 C0070　2015 年 10 月 27 日発行

芸州三田

永井弥六
B 6 判 240 頁・本体 1,800 円＋税（10%）

かつて安芸国三田村の村長を勤め、郷土史家である著者が村の歴史民俗を随筆風に記した。二・二六事件や原爆のことのほか、山焼き、村祭りなど農山村の行事が情感豊かに。

ISBN978-4-87440-071-5 C3021　1983 年 7 月 10 日発行

広島県の盆踊

盆と盆踊りの歴史、現在広島県で行われている盆踊りの由来、形態、曲調、歌詞と踊りの時期を詳述する。盂蘭盆、精霊祭など各地の盆の行事が興味深い。

真下三郎
B５変形判 180 頁・本体 2,000 円＋税（10%）　ISBN978-4-87440-171-2 C1033　1987 年 7 月 1 日発行

広島県の祭り

県内の神社・寺院の祭りや縁日、祭り的諸行事の主なものを収録。縁起と祭礼など歴史と様式解説するほか、都市の祭り、故郷の祭りなど年中行事と月別表を添付。

真下三郎
B５変形判 180 頁・本体 1,922 円＋税（10%）　ISBN978-4-87440-298-6 C1033　1993 年 6 月 20 日発行

瀬戸内レモン〈POD 版〉
—ブームの到来と六次産業化・島おこし—

需要の拡大やブランド価値向上を目指す取り組みから始まった「瀬戸内レモン」ブーム。行政による取組後もブームが熱を保ち続け拡大を続ける背景について、現状を分析し、今後の展望を探る。

川久保篤志
A５判 144 頁・本体 1,700 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-597-8 C1036　2022 年 6 月 10 日発行

島めぐり人めぐり —歴史のかたわらを懸命に生きた人たち—
広島編　厳島・江田島・似島など

広島県内の島々を取り上げ、歴史や地誌に登場するゆかりの人物の足跡をまとめる。厳島・江田島・似島・広島デルタ・黄金山・元宇品ほか。

三島孝次
四六判 288 頁・本体 1,800 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-237-8 C0021　2013 年 12 月 20 日発行

海の道 —瀬戸内海—

遣新羅使の行程をたどりながら、人・物・文化の大動脈であった瀬戸内海の歴史を詩情豊かに追う。「大陽新聞」で隔週掲載された〈海の道　瀬戸内海〉を編集収録。

杉原耕治
四六判 345 頁・本体 1,500 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-308-5 C1021　2015 年 11 月 22 発行

佐伯区本

広島市西部に位置する佐伯区の自然、歴史、文化、ひとの魅力を、地元目線で紹介。

河浜一也
A４判 98 頁・本体 926 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-415-0 C1021 2017 年 10 月 8 日発行

続佐伯区本

佐伯区本の続編。広島市西部に位置する佐伯区の自然、歴史、文化、ひとの魅力を、地元目線で紹介。

河浜一也
A４判 100 頁・本体 926 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-453-2 C3082　2018 年 8 月 25 日発行

広島藩の歴史
—江戸時代が現代の広島に繋がる—

徳川 300 年の間、広島藩は幕府寄りの藩主によって支配され、藩民の関係は希薄だった。この政治体制は藩民の性格形成だけでなく各地の文化や産業など多くの分野に渡って影響を及ぼす。現代にまで引き継がれるその影響とは——。

木本　泉
A５判 292 頁・本体 2,500 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-602-4 C1021　2022 年 11 月 17 日発行

安芸国の中世をゆく
郷土の歴史を解き明かす

激動の中世日本の中で安芸の国はどう動いたか。源頼朝の鎌倉幕府旗揚げから関ヶ原の戦いまで、西に大内氏、東に信長・秀吉勢…日本史を俯瞰して安芸の国を描く。

木本　泉
A５判 296 頁・本体 1,800 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-482-2 C0021　2019 年 7 月 18 日発行

佐伯みち —古代の謎を歩く—

古くから存在する広島県南西部の「佐伯」という地名。編入、合併により「佐伯区」を残すのみとなる。古代から続いてきた由緒ある名称の謎を古代史的観点から迫る。

木本　泉
A５判 222 頁・本体 1,800 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-303-0　C0021　2015 年 10 月 1 日発行

百聞よりも一見
探訪・広島県の考古学

広島県内の魅力的な遺跡・文化財を選出し、現地探訪のためのガイドと考古学に基づく基礎資料や最新情報を紹介。

脇坂光彦・小都　隆 編
A５判 260 頁・本体 1,800 円＋税（10%）　ISBN978-4-86327-224-8 C0020　2013 年 8 月 10 日発行

考古学から探る郡山城
—城館が語る安芸の中世—

毛利氏の居城であった郡山城は、その歴史的背景や保存状態の良さから西国を代表する城の一つとされている。本書では、考古学的調査の成果をまとめ、史料調査や安芸の城館との比較を行って郡山城の構造と変遷をたどり、性格と意義を明らかにすることを目指す。

小都　隆
A５判 160 頁・本体 1,500 円 ＋税（10%）　ISBN978-4-86327-522-5 C0020　2020 年 8 月 1 日発行

広島の中世城館を歩く

表　邦男
B6判 292頁・本体 1,800円＋税（10%）

著者が足掛け約40年をかけて踏査した広島県内の中世城跡（山城や豪族居館跡）を写真や地図とともに紹介。県内に確認されているおよそ1300のうち、100の城跡を地域ごとに取り上げる。

ISBN978-4-86327-549-2 C0020　2021年2月1日発行

紀貫之とカミヨの歌　ヲシテを知って！

上領達之
四六判 248頁・本体 1,800円＋税（10%）

『古今和歌集』仮名序の例歌四首までがヲシテ文献中の歌と酷似している。長歌と短歌の組み合わせた和歌形式はヲシテ文の様式そのものである。これらの知見を基にして「漢字渡来以前の日本に文字はなかった」という常識に挑む。

ISBN978-4-86327-538-6 C0091　2020年10月20日発行

山里からの伝言
—中国山地 2010 ～ 2012—

島津邦弘
四六判 270頁・本体 2,500円＋税（10%）

中国山地周辺の人々の暮らしや産業の移り変わりを、ルポ形式で報告する。中国山地に連綿と続く人々の営みの記録。益田市匹見町・島根県邑智郡・奥出雲地域・三次・庄原北部地域・芸北地域。

ISBN978-4-86327-187-6 C0036　2012年6月1日発行

筑前神楽考
—遠賀御殿神楽—

波多野　學
A5判 346頁・本体 6,000円＋税（10%）

旧遠賀郡の筑前御殿神楽は社家神楽で日本最古の里神楽の1つといわれる。その歴史を先祖伝来の貴重な古書類、参考文献をもとに紐解き、神主達の次代継承の願いを伝える。

ISBN978-4-87440-728-8 C0021　2003年1月10日発行

観て歩き　石州の文化財

小寺雅夫
A5判 200頁・本体 1,800円＋税（10%）

絵画、彫刻、工芸品、書籍、考古資料、史跡、天然記念物等数々の文化財を大田、大森銀山、江津、浜田、益田、津和野の地域ごとに区分して紹介する初の総合案内書。

ISBN978-4-86327-132-6 C0021　2011年2月3日発行

一九三三年の大学対抗ディベート
—彼らは何を目指したのか—

熊谷芳郎
四六判 304頁・本体 2,800円＋税（10%）

1933年から2.26事件の前年1935年まで、雑誌『雄弁』主催による大学対抗ディベートが13回開催された。本書はこの試みを明治から戦後へと続くディベート移入史に位置づけることを試みたものである。

ISBN978-4-86327-446-4 C3037　2018年9月28日発行

しんじゅがい　ブログ「つぶやき」
—藤原凡人の人生旅日記—

藤原凡人
A5判 146頁・本体 926円＋税（10%）

平成21年（2009年）3月1日から平成27年（2015年）10月29日までの約6年半書き綴ったブログ集。教育・講演会のこと、家族、自身のこと。

ISBN978-4-86327-394-8 C0095　2017年4月27日発行

しんじゅがい
—講演・講話・講義集—

藤原凡人
A5判 240頁・本体 926円＋税（10%）

生前、八百回余りの講演、講義を行ってきた著者が遺した録音テープの中から、教職員研修会での講話、保護者や地域の皆様への講演、大学生への講義、6年生への送る言葉の4章9編を文字におこし編集。ユーモアを交え、やさしい笑顔で語りかけた著者の声を一冊に集約。

ISBN978-4-86327-419-8 C0037　2017年12月15日発行

清水文雄先生に導かれて
—王朝文学の会の軌跡—

安宗伸郎
四六判 202頁・本体 2,800円＋税（10%）

清水文雄先生指導による王朝文学会の歩みと機関誌「河」への随想、恩師槇岡先生、義兄門田宏氏に関る編集関係を記載。縁あって携わったこれまでの編集記録をおさめる。

ISBN978-4-87440-816-2 C1095　2004年6月6日発行

〈修道〉——その軌跡と展望

相馬伸一・落合　功・藤井　隆・
A5判 66頁・本体 476円＋税（10%）

松田克進・ハンス ユーゲン・マルクス
広島修道大学50周年記念学術シンポジウム——修道学園創立50周年にあたってその軌跡を振り返り未来展望をした、大学教員5人によるシンポジウムの記録。

ISBN978-4-86327-140-1 C0037　2011年3月22日発行

広島のロートレックと呼ばれた男　山路商略伝

塩谷篤子・藤崎綾／第18回日本自費出版文化賞地域文化部門入選
四六判 196頁・本体 1,800円＋税（10%）

大正時代後期から第二次世界大戦末期にかけて広島市内で人目を引いた画家・詩人がいた。画家ロートレックになぞらわれた彼の同時代の著作や遺稿、証言、資料から人物像と生きた時代をふりかえる。

ISBN978-4-86327-270-5 C0023　2014年9月16日発行

広島のものづくり先進企業2
—次世代へのメッセージ—

渡辺昌彦・村山秀次郎 編
A5判 920頁・本体 800円＋税（10%）

広島経済大学講義「広島地域ものづくり事情」の講義録続編。現在の広島市西区横川周辺地域が創業の地、または本拠地として長く続いている企業を取りあげている。

ISBN978-4-86327-266-8 C1036　2014年9月20日発行

マツダ最強論

迫　勝則
四六判 296 頁・本体 1,600 円 ＋ 税（10%）

世界で一番愛される自動車会社―。創立 100 周年を迎えたマツダ。それを支えていたのは愚直と独創の経営力だった。マツダ株式会社元ブランド戦略マネージャーで「ブランドシンボル生みの親」が、マツダと自動車の未来を語る珠玉の 1 冊。

ISBN978-4-86327-499-0 C0034　2019 年 12 月 5 日発行

都市を編集する川
―広島・太田川のまちづくり―

北村眞一・岡田一天・田中尚人 著／中村良夫 企画・構想
A 5 判 192 頁・本体 1,800 円 ＋税（10%）

人はなぜ都市をつくるのか。本書は、この問いを心に秘め、広島市民にとって人生の至福の舞台、太田川と対話しつつ、水辺のデザインに取り組んだ風景学創始者とその弟子たちの記録であり、まちづくりの冒険譚である。

ISBN978-4-86327-498-3 C1051　2019 年 12 月 10 日発行

近代日本の建築活動の地域性
―広島の近代建築とその設計者たち―

李　明・石丸紀興
四六判 220 頁・本体 2,200 円 ＋ 税（10%）

地方都市広島における建築家活動の全体像を解明し、近代日本における地方の近代建築の特徴と建築家の活動の地域性について論じる。

ISBN978-4-86327-046-6 C1052　2008 年 12 月 12 日発行

草の根の日韓 21 世紀共同体
―文化・経済・環境からのアプローチ―

尹光鳳・権俸基・李東碩・羅星仁 編著
A 5 判 270 頁・本体 1,900 円 ＋ 税（10%）

国際平和都市・ヒロシマという視点から、文化交流、経済、環境問題への取り組みなど日韓交流の促進のための現状と課題を検討し、新しい歴史共同体構築を総合的に提案する。

ISBN978-4-87440-917-6 C1031　2006 年 4 月 20 日発行

進む中央アジアとの出会い
―文化交流と国際協力と―

米田　博
A 5 判 286 頁・本体 1,800 円 ＋ 税（10%）

ウズベキスタン日本人材開発センターで共同所長として活動してきた著者の、現場報告と記録。ビジネス人材の育成、中央アジアの開発、国と国との文化交流からみえてくる現状と未来を考察する。

ISBN978-4-86327-175-3 C1036　2012 年 3 月 10 日発行

呪われたセイレム ―魔女呪術の社会的起源―

ポール・ボイヤー、スティーヴン・ニッセンボーム 著／山本雅 訳
A 5 判 350 頁・本体 3,500 円 ＋ 税（10%）

1692 年のセイレム魔女呪術事件はどうして起きたのか。アメリカの植民地時代を背景に、セイレムの歴史、嘆願書などの資料・記録からみえる社会的真相を究明。完全翻訳。

ISBN978-4-86327-026-8 C3022　2008 年 12 月 1 日発行

祖国のために死ぬこと
第一次世界大戦の〈英国〉の文学と文化

荒木映子
四六判 284 頁・本体 2,800 円 ＋税（10%）

戦争と祖国と個人の栄誉と――紐帯の喪失から英国・アイルランドに生まれた新たな戦争文学と文化。

ISBN978-4-86327-486-0 C1022　2019 年 10 月 1 日発行

戦争はもういやだ！
―ギリシア少年が見たもの―

パノス・カロス 著／川野美智子ほか 訳
四六判 232 頁・本体 2,000 円 ＋ 税（10%）

世界中の人々が苦しんだあの戦争は何だったのか？同世代を生きたギリシア少年の回顧とその後の人生を、独自のユーモアを交えて語る物語。

ISBN978-4-86327-434-1 C0097　2018 年 5 月 15 日発行

モンテレー半島日本人移民史
―日系アメリカ人の歴史と遺産 1895-1995―

石田孝子 訳
A 4 変形判 280 頁・本体 4,500 円 ＋ 税（10%）

モンテレー半島で過ごした日本人の生活を移民一世、二世の記憶と回想をもとに記述した歴史移民史の完全翻訳。成功と挫折、戦争と差別、夢と忍耐を持って生きた日本人の記録。

ISBN978-4-86327-053-4 C0020　2009 年 3 月 3 日発行

往生の理念

髙間由香里
A 4 判 222 頁・本体 30,000 円 ＋ 税（10%）

４つの絵画について伝来から表現技法まで細部にわたる観察・研究をまとめる。美しい原色図版掲載。限定 300 部。

ISBN978-4-86327-089-3 C3015　2014 年 3 月 3 日発行